

記事 ○ 第19回「鉄道フェスティバル」の開催について

○ 第19回「鉄道フェスティバル」の開催について

本年度の「鉄道の日」のメイン行事として、去る10月6日(土)及び7日(日)に、第19回「鉄道フェスティバル」が、東京・新宿区の明治公園・霞岳広場で、鉄道事業者、協賛企業等50社以上が参加して開催されました。

フェスティバルの会場では、日本地下鉄協会をはじめ各鉄道事業者や協賛企業が展示・物販ブースを設け、鉄道技術や車両等の展示及び鉄道関連グッズの販売等が行われ、2日間で約71,000人(運営事務局発表)の入場者で賑わいました。

日本地下鉄協会も、会員事業者等の最新車両を掲載した「クリアファイル」や「遊んで学ぼう地下鉄ガイド(リーフレット)」を来場者に配布するとともに、リニアモーター地下鉄の試作台車(リンク式操舵、独立回転車輪)の模型を展示し、多くの人に説明を求められ解説しました。併せて福岡市交通局のリーフレット配布を行い、地下鉄七隈線等の宣伝も行いました。当協会のブースは、一時行列ができるなど大変な賑わいとなり、今回参加できなかった事業者のことも問われるなど大賑わいでした。

また、例年どおり京都市交通局の物販販売もあり、2日間にわたり公営交通事業をはじめ会員事業者のPR活動の場となりました。

会場の様子は、下記の写真のとおりです。



(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp